



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2017
5.15
No.35

CONTENTS

介護福祉経営士
活動レポート Vol.5
介護福祉経営士が実践した
効果のあった
離職防止への取り組み Part2
特養ユニットリーダー編 2

●合格者の声
●2017年度
「介護福祉経営士」
資格認定試験案内 4

●全国介護福祉総合
フェスティバル開催決定
●「介護福祉のみらい」
作文コンクール 5

●今月の「介護ビジョン」
●今月の書籍紹介 6

INFORMATION 7

イベント掲示板 8

【介護福祉経営士 活動レポート Vol.5】

介護福祉経営士が実践した
効果のあった離職防止への取り組み

Part2

特養ユニットリーダー編

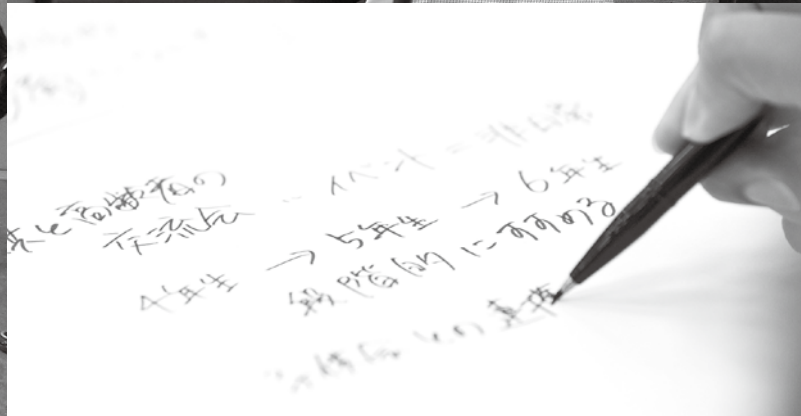
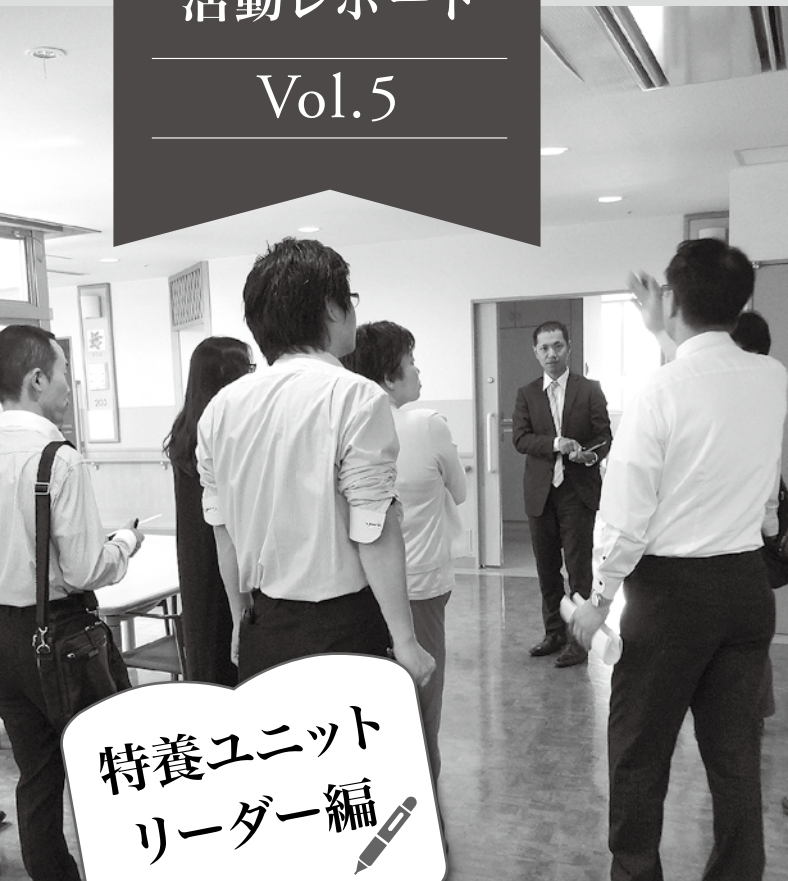
目的に辿り着くための手段や
方法を考えてもらい、
具体的な行動に結びつける



一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会

お問い合わせ先

一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
もとみやビル3階



特養ユニット
リーダー編

目的に辿り着くための手段や 方法を考えてもらい、 具体的な行動に結びつける

介護福祉経営士が実践した 効果のあった離職防止への取り組み

Part2

それぞれの職場における大きな課題である「離職」。

前号に続き、これまで介護福祉経営士の方々が実際に行って効果のあった離職防止策を紹介する。

今回は、特別養護老人ホーム（以下、特養）の現場で介護職員として働き、
今はユニットリーダーとしてチームをまとめる菅沼謙氏に登場いただいた。

菅沼氏は、カウンセリングとコーチングを学び、
介護職員のメンタルケアやチームビルディングの研修を独自で実施している。

個々人の得意分野を見つけ、 そこを活かせる雰囲気づくりを

チームケアを行っていく上で大切にしているのは、チームメンバーの役割を明確にすることです。リーダー、サブリーダーに関しては運営の軸になるので特に注意しました。

指揮命令者としての意識を持ってもらうことを伝え、メンバーはリーダー達を応援する。そういったチーム体制をミーティングで伝えて明確にしました。

メンバーに関しては、パソコンが得意な人、綺麗好きで掃除が得意な人、レクリエーションを盛り上げるのが得意な人……。それぞれの得意分野を見つけ、それを活かせる雰囲気を作っていました。正社員かパートかといった、勤務形態による分け方は特にしません。もちろん勤務時間の差があるため、すべての業務を同等に分担するというわけにはいきませんが、同じチームのメンバーとして対等に関わります。

他職種との連携では、どちらかの意見が強くなるような働きかけは避けました。

同じ入居者様に対してそれぞれの役割で関わっているのに意見や視点が違うのは当たり前ですが、そこに強弱が発生しないように関係性を構築しました。

理念や方針を押し付けない

無理に法人の理念や方針を押し付けることはしません。

「私たちの仕事は何？」という言葉を使ったりします。

法人の理念は額に入れて目に付きやすい所に飾ってありますが、具体的な行動には結びつけにくいいため、上記の言葉でメンバーに問いかけるのです。

答えが出てこない時には、「入居者様が安心して安全に生活できる環境を提供するのが、私たちの仕事

です」と伝え、「そのために、私たちは何ができる？」と質問します。

そうして出てくる答えは、法人の理念や方針と大きく離れることはないと思います。リーダーの言葉として、目的を明確に伝えることを意識しています。

その目的に辿り着くための手段や方法はメンバーに考えてもらい、具体的な行動に結びつけてもらうようにしています。

世代によって、体力や仕事に対する考え方など差がありますが、体力面に関してはシフトで調整をしたりすることがあります。仕事に対する考え方は、若い世代は年長者から学んで、年長者は若い世代の柔軟性に刺激を受けているようです。特に問題は感じていません。

個人面談を活用する

不定期ですが、職員との個人面談をしています。

自己分析表を使用して、本人に分析してもらっています。

その分析結果に対して、こちらから意見はしません。

「自分でどう思ったのか?」「今後はどうしていきたいのか?」を質問します。

自分で自身の目標を決める形を作っています。そうすることで職員は、自分で新たな目標を見つけたり、過去の目標を振り返って気づきを得たりしています。

Profile 菅沼 謙氏

特別養護老人ホーム、ユニットリーダー。介護福祉士、メンタルコーチ。20代は海外を放浪。帰国後「自分の国に対してできること」を胸に介護の世界へ。ドライバー兼ヘルパー見習いに始まり、数々の介護現場を経験。介護主任として大失敗をきっかけにマネジメントの重要性を思い知る。カウンセリング、コーチングを学び現場に活用。「チーム改革研究所」主宰

介護福祉業界の成熟のため プラットフォームづくりを目指したい

山口 弘幸 ●やまぐち・ひろゆき

長崎ウエスレヤン大学
社会福祉学科 准教授
介護福祉経営士2級



障がい者と生活を共にし 思いや人生に触れたことが原点

私は大学でソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)の養成に携わると同時に、障がい者のグループホームを運営しています。20代は、大学院で福祉文化について学びながら職員として働いていましたが、時代や社会のニーズに後押しされた福祉系の学部・学科の増設と相まって、幸運にも教育研究職に就くことができました。

福祉の道を選択したのは、両親が自宅の一部や敷地内のアパートを開放し、精神障がい者の方のために共同住居や作業所を運営しはじめたことが大きく影響しています。10代の頃から障がいのある方と日々の生活を共にしてきたなかで、一人ひとりの思いや人生に触れ、福祉への思いを強くしました。

今、教育者として、現場で活躍する卒業生の姿やその成長に喜びを覚えます。しかし教育現場は、介護福祉士を目指す日本人学生の減少、医療系・福祉系専門職の養成課程の再編、キャリアパスと連動した社会人教育への対応、外国人の介護人材養成といった大きな地殻変動期に立たされています。介護と医療のみならず、教育との連携の強化も模索しないと介護福祉・医療業界も土台から弱体化していくのではないかと危惧しています。

今後は、法人経営の視点に立ち 保育分野や障がい福祉分野の経営へ

4年程前に自身が運営する福祉系NPOの事業課題を考えるなかで、経営学について研究しようと思い立ち、再度大学院に進学しました。そこでは一般企業を題材に、「良い経営と

は何か」を考えるさまざまな切り口を学び、MBAを取得。その間、社会福祉法人の法人監査を担うようになったことから、経営学の知見をどのように福祉分野へ応用していくのかが、私の新たな研究テーマとなりました。

そのようななか、介護福祉経営士を知りました。福祉経営に関する大学での講義や自身が運営する事業所の経営、社会福祉法人の法人監査業務に生きています。今後は介護福祉経営士で学んだ知見を第三者評価事業への取り組みで活かしつつ、法人経営の視点に立って、保育分野や障がい福祉分野の経営について考えていきたいと考えています。

学生には創意工夫で未来を切り開き 経営を深く学んでほしい

「利用者良し」、「組織良し」、「地域良し」といった近江商人の「三方良し」の精神は福祉経営においても重要なことだと思います。学生には、現実課題に流され過ぎず、取り巻く経営資源を冷静にみつめ、創意工夫をしながら未来を切り開くことができる人材になってほしい。また今後の福祉専門職の高度化・専門化に対応できるよう、福祉経営についてより深く学んでほしいと願っています。

介護福祉は人が人を支える仕事である以上、利用者のみならず支え手自身も大切にされ、希望を持って生き生きと働ける業界となるよう成熟してほしいと思います。そのためには現場の方々と研究者が、介護福祉・医療業界の経営課題に向き合い、情報を共有化するなかで解決策や改善策を検討・提案することが重要だと思います。小さな一歩ですが、大学がそうした思いを抱く人々を結ぶプラットフォームとなれるよう、交流の機会や研究会を企画していければと考えています。

2017年度 「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

「介護福祉経営士」資格認定試験(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会)の2017年度試験日程は下記の通り。

第13回 2級	第14回 2級 第4回 1級	第15回 2級
2017年 7月9日(日)	2017年 11月12日(日)	2018年 3月18日(日)

「介護福祉経営士2級」は年齢、学歴、国籍等の制約や保有資格、介護職の経験の有無にかかわらず受験することができる。「1級」は、「介護福祉経営士2級」の資格認定を受けること。
試験に関する情報は、同会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にて随時公開していく。

■「介護福祉経営士2級」資格認定試験概要

受験料	8,000円(税込)	出題問数	40問
出題形式	多肢選択式、マークシート記入	試験時間	60分
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません (成年被後見人および被保佐人でないこと)		
試験会場(予定)	札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・福岡		

介護福祉
経営士テキスト
のご案内

介護福祉経営士
1級試験 準拠
実践編 全11巻
価格:25,710円(税込)

介護福祉経営士
2級試験 準拠
基礎編 全10巻
価格:23,660円(税込)

開催決定

第2回

全国介護福祉 総合フェスティバル in 横浜

地域社会における新たな介護文化の創造・発展を求めて
——今こそ必要な世代間の相互理解と融合

2017年
8月4・5日
開催!

お待たせしました! 特別講演などプログラムが一部決定いたしました。今号より順次発表していきます。

プログラム 1日目 8月4日(金)

【特別講演】

「見守る介護」

——自分を責めずに頑張り過ぎない介護——

“認知症を発症した母との介護経験から”

秋山リサ(女優/エッセイスト)

【基調講演】

「これからの地域社会のあり方

——新たな介護文化の創造と発展を考える」

講師: 小櫻義明(静岡大学名誉教授)

【特別対談】……Wチヅ子が介護の今を切る!

「介護職の社会的地位確立に向けて
——仕事の原動力と哲学」

井上千津子

(元京都女子大学大学院教授)

× 上野千鶴子

(東京大学名誉教授)

司会進行・コーディネーター:

平山亮(東京都健康長寿医療センター研究所
福祉と生活ケア研究チーム
終末期ケアのあり方の研究 研究員)

その他



作品募集中

第2回「介護福祉の未来」作文コンクール

一人ひとりの思いが、介護福祉の新たな未来を創ります。
これからの社会を担うみなさんの声を届けてください。

【趣旨】

将来を担う中学生、高校生が介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会とします。

【募集期間】

2017年4月3日(月)～6月30日(金) ※郵送の場合は必着

【応募資格】

中学生、高校生の方

【テーマ】

以下のテーマ(課題)の中から好きなもの一つを選んで、あなたが感じること、考えることを自由に書いてください。

- 介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと
- 自分の老後を想像して考えたこと
- これからの介護や福祉に関する私の意見

【応募方法】

- 1,200字以内(原稿用紙、ワープロ原稿、縦書き、横書き、いずれも可。書式自由)
- 必要事項を記入の上、以下のいずれかの方法でお申し込みください。送付先は最下段に記載しています。

① 郵送 ② メール送信(wordファイル添付)

※メールの場合、件名は「作文コンクール」と記載してください。

【必要事項】

- ① 郵便番号・住所 ② 氏名・ふりがな
- ③ 年齢(学年) ④ 電話番号 ⑤ メールアドレス
- ⑥ 学校名・学部・学科・学年 ⑦ 作品タイトル

【表彰】

最優秀賞/優秀賞、他[賞状・副賞]

【審査】

日本介護福祉経営人材教育協会の指定する審査員により各賞を決定。

【発表】

8月3日(木)に日本介護福祉経営人材教育協会ホームページで発表予定。ならびに報道各社にプレスリリースを配信予定。

※8月4日(金)・5日(土)に横浜市内で開催する「第2回全国介護福祉総合フェスティバル」会場において、表彰式を行います(8月5日11時15分～(予定))。

【お問い合わせ・送り先】

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会
「『介護福祉の未来』作文コンクール」事務局

〒101-0042

東京都千代田区神田東松下町17番地 もとみやビル3階

TEL.03-3256-0571(平日10:00～18:00)

メールアドレス: Kaigofes_sakubun2017@nkfk.jp



注目の!

特集

介護事業者は何ができるか? 集合住宅を考える

全国の大型団地では今、住民の高齢化が深刻な課題となっている。そうしたなかで、団地運営主体と介護事業所がタッグを組んで、高齢者の生活に即した団地にリフォームをするなど、高齢者の生活を支える仕組みが生まれつつある。

本特集では、集合住宅における課題や介護事業者らによる座談会の模様を報告するほか、公社住宅など、地域で高齢者を支える取り組みをレポートする。

巻頭の「新・介護時代への挑戦～明日の日本を変える者たち～」は、長谷川ホールディングス株式会社の好本一郎代表取締役社長CEO。就任から約2カ月、これまでのさまざまな企業での経営の経験をもとに、経営者としての考え方や今後の展望について語っていただいた。



最新介護経営 介護を変える多面的介護経営情報誌

介護ビジョン 5

介護事業者の
新たな論

特集 介護事業者は何ができるか?
集合住宅
を考える

「介護は30年先の未来を担う仕事 地域に根ざした介護をどう実現していくか」

新 介護時代
への挑戦
好本一郎
代表取締役社長

2017年5月号
(2017年4月20日発売)

詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円(税込)
- 定期購読料: 15,552円(税込)

今月の
書籍紹介

JMP選書

コップの中の医療村 —院内政治と人間心理

診療所事務長として25年 プロが語る医療現場の真実!

28歳で医療界に転身、在宅医療専門診療所の事務長として辣腕を振るうかたわら、在宅医療コンサルタントとしても活動してきた著者が綴る医療現場の真実。在宅医療・介護の裏話、医師・看護師・患者が繰り広げる人間模様、診療所経営のヒントを明かす!

目次

- | | |
|------|------------------------------|
| はじめに | 問題の本質はすべて人間関係にある |
| 第1章 | 患者は知らない在宅医療の真実 |
| 第2章 | 辣腕事務長が明かす「開業」「集患」「採用」戦略 |
| 第3章 | プライド VS 女社会 医療現場に巣食うトラブルメーカー |
| 第4章 | 地域の信頼を勝ち取るための患者クレーム対応術 |

好評
発売中



中村 哲生 著
(医療法人社団永生会特別顧問)

- 体裁: B6判 / 180ページ
- 定価: 本体価格1,500円+税
- ISBN: 978-4-86439-565-6

INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします



介護×ICTミーティング開催

双方の業界関係者が一堂に会し介護ICT化の実状と課題を探る

「介護×ICTミーティング」が4月24日、東京都内で約50名を集めて開催されました(主催:株式会社日本医療企画、後援:一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会)。

介護現場では、介護サービスの質を向上させながら、生産性を高めていこうという課題に挑戦しています。とりわけ近年、介護人材の枯渇が深刻化しており、業務効率化のためのICT活用は待ったなしの状況を迎えています。こうしたなかで、介護事業者とソフト等開発者が一堂に会して意見交換をする場がほとんどなく、IT業界からの参加が大半を占めその関心の高さがうかがえました。

はじめに介護事業者4社によるセッション「ICT導入の効果と課題」。登壇した4社は、システムを自社・共同開発した、いわばIT化の先行モデル事例。導入のねらいについて「働きやすさの向上が職員定着に寄与して、サービス向上につながるような好循環をめざした」(糸魚川恒・株式会社礎執行役員)、「事務作業の半減をめざし、削減した時間を①生活支援機能の強化、②多職種連携の強化、に費やしていく」(松野雄太・株式会社やさしい手取締役副社長)など、単なる省力化にとどまらず、介護サービスの質向上を志向していることがわかりました。

また、導入しているシステムも「記録のペーパーレス化、動画による職員研修などのシステムを導入済み。2017年は写真や画像による家族への情報公開ツール、施設各フロアの情報掲示を行うデジタルサイネージを導入予定」(鮫島智啓・株式会社クラチ代表取締役)など、幅広い業務のICT化の実例が紹介されました。

導入・運用における課題では、小規模デイサービスを全国FC展開している藤田英明・株式会社日本介護福祉グループ会長が「とにかくバンダーロックインを解消してほしい」と指摘。多店舗展開する上での運用コストやリスク管理を考慮し、最終的にクラウド型の保険請求等のシステムにたどり着いた経緯を説明しました。

ソフト開発側との橋渡し役では、「社員にSEが十数名おり、要件定義を担っている」(松野氏)という例もあるものの、大半はIT専門の社員が不在で、リテラシーの低さや、IT業界に対する警戒心などが導入の妨げになっているという指摘も上がりました。

さらに今後ICT化が期待される業務について、「介護職員の経験値のデータ化と活用」「高齢者の喫食、栄養管理のデータ化」「通所介護における業務時間が長い送迎、記録の省力化」「訪問介護におけるヘルパーの移動時間管理と調整」等々、現状では介護保険の請求等にとどまっているIT化の拡大に期待が寄せられました。

優れた商品を探せるカタログサイトの創設を

「継続」でのセッション「システム開発と顧客満足度向上に向けた取り組み」では、規模や得意領域が異なる介護ソフト開発4社が登壇。「介護事業者への営業、コミュニケーションでどのような苦勞があるか、工夫をしているか」などを語り合いました。

福岡市内に特化してサービス提供を行う鹿野佑介・株式会社ウェルモ代表取締役CEOは、「介護事業者の熱意が地域に伝わらない現状を解決して、事業者の評価が介護職員のモチベーションにつながるようにしたかった。介護業界にIT化を進めるためには、アナログとデジタルの融合にたどり着いた」と振り返りました。

また、介護事業者と泥臭くコミュニケーションを図っている様子も明かされました。福島成典・株式会社ロジック取締役COOは「介護現場で起こっていることを肌感覚で理解するため、代理店頼みにせず、ひたすら介護事業者を回った。システムを提案する前に、介護事業者としてどうあるべきか・ありたいかを徹底的にぶつけ合うことが重要」、迫田武志・NDソフトウェア株式会社ソリューション事業部販売推進グループ営業企画ユニット課長代理は、「机上論による開発に陥らないよう、営業やトラブル発生の時も、開発担当と一緒に現場に足を運んでいる」など、複雑な業務が多い介護事業者の理解を深める工夫が必要なようです。

そうしたなかで、次田芳尚・合同会社かいご支援サービス代表が、顧問を務める株式会社ビーシステムで「社員に『介護福祉経営士』の資格取得を促している」という取り組みは関心を集めていました。

最後に、コーディネーターを務めた竹下康平・株式会社ビーブリッド代表取締役が全体を総括。介護事業者、介護ソフト開発側が意見交換する場は必要なので、今後も「介護×ICTミーティング」を継続していくことを宣言しました。また、ソフト開発会社が玉石混交のなかで優れた商品が埋もれており、一方ではユーザー側の意見が届いていない現状の解決策として、「介護システムカタログサイト」の創設を提案しました。

介護のイノベーションに不可欠な介護ICT化において、双方が連携を深めていく第一歩となりました。



登壇した介護ソフト開発4社。左から鹿野佑介氏、福島成典氏、迫田武志氏、次田芳尚氏

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

北海道支部

経営士として自分の働く業界を知っておこう！ 社会保障ゼミⅡ

昨年度大好評のうちに幕を閉じたゼミがバージョンアップして今年度も開催する。将来の医療介護の行き先を知りたい方に最適。若手も中堅もベテランも、業種・職種問わずみんなで学べるゼミ形式の勉強会だ。

- 日時：2017年5月26日(金)、6月23日(金)、7月28日(金)、8月25日(金)、9月22日(金) 18:30~20:00
- 講師：神内秀之介氏(NB lab代表、介護福祉経営士)
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム
(北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料：協会会員 各回1,000円、一般 各回1,500円※資料代、税込
- 定員：30名
- 共催：日本介護福祉経営人材教育協会北海道支部、
日本医療経営実践協会北海道支部、日本栄養経営実践協会北海道支部

お問い合わせ

日本介護福祉経営人材教育協会 北海道支部
(株式会社日本医療企画 北海道支社 内)
TEL.011-223-5125

北海道支部

地域を知る 仲間と繋がる 共に学ぶ 医療・介護・栄養経営士3支部合同研究会

地域包括ケア時代に必要な医療・介護・栄養の一体化に向けて経営士としてさまざまな職種、業種、立場で活動する人材が集う、ジャンルを超えた研究会を合同開催する。

- 日時：2017年5月19日(金)、6月16日(金)、7月21日(金)、8月18日(金)、9月15日(金) 18:30~19:30
- 会場：日本医療企画北海道支社セミナールーム
(北海道札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201)
- 受講料：協会会員 各回500円、一般 各回1,000円※資料代、税込
- 定員：30名
- 共催：日本介護福祉経営人材教育協会北海道支部、
日本医療経営実践協会北海道支部、日本栄養経営実践協会北海道支部

お問い合わせ

日本医療経営実践協会 北海道支部
(株式会社日本医療企画 北海道支社 内)
TEL.011-223-5125

関西支部

医療経営士・介護福祉経営士 関西支部合同研究会 坪ゼミ 医療・介護現場の問題解決法

医療や介護の現場で日々発生するさまざまな問題を科学的な考え方・手法によって解決することは、問題再発を防ぐだけでなく仕事の効率を上げ、現場改善にチカラを発揮する。本ゼミでは仕事の質を向上させるための基本を学ぶ。

- 日時：2017年2月18日(土)、3月18日(土)、4月15日(土)、5月20日(土)
全4回14:00~17:20
- 講師：坪茂典氏(社会医療法人愛仁会本部介護福祉事業部長、
社会福祉法人愛和会本部統括部長)
- 会場：新日本有限責任監査法人大阪事務所セミナールーム
(大阪府大阪市北区角田町8番1号 梅田阪急ビルオフィスタワー37階)
- 参加費：協会会員全4回10,000円 各回参加3,000円
- 定員：50名※定員になり次第、締切。
- 主催：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会、
一般社団法人日本医療経営実践協会

お問い合わせ

日本介護福祉経営人材教育協会 関西支部
(株式会社日本医療企画 関西支社 内)
TEL.06-7660-1761

九州支部

介護福祉経営研究会「LINK」 介護業界M&Aの実態

M&Aによる異業種からの参入や議論が進んでいる「混合介護」の弾力化等、介護業界の多様化が進んでいる。本研究会では、介護事業者がM&Aを決断する経緯やM&A後の経営状況、スタッフのモチベーションなど実態を語る。

- 日時：2017年5月26日(金) 18:30~20:30
- 講師：今市遼祐氏(株式会社日本M&Aセンター医療介護支援部)
- 会場：日本医療企画九州支社セミナールーム
(福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目3-6第三博多借成ビル503)
- 参加料：協会会員1,000円、一般2,000円
※参加料は当日会場でお支払いください。
- 主催：日本介護福祉経営人材教育協会九州支部

お問い合わせ

日本介護福祉経営人材教育協会 九州支部
(株式会社日本医療企画 九州支社 内)
TEL.092-418-2828

日本医療企画

「介護福祉経営士2級」資格認定試験 直前ポイント整理講座in九州

7月9日に実施される第13回「介護福祉経営士2級」資格認定試験に向けた対策講座を開催。模擬試験を通して試験のポイントをつかむことができるほか、介護福祉経営について体系的に学ぶことができる。

- 日時：2017年6月11日(日) 10:00~17:00
- 講師：谷口雅弘氏(ケアマネシステム代表、介護福祉経営士)
- 会場：日本医療企画九州支社セミナールーム
(福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目3-6第三博多借成ビル503)
- 受講料：15,000円※税込
- 定員：15名
※定員数の状況により会場の変更や開催を中止する場合もございます。
- 主催：株式会社日本医療企画

お問い合わせ

株式会社日本医療企画 九州支社
TEL.092-418-2828

日本医療企画

ヘルスケア・レストラン特別セミナー 結果を出せる減塩指導セミナー

3次予防としての「減塩指導」の重要性について解説するセミナー。糖尿病性腎症患者への減塩指導をベースに透析予防のアウトカムを出している施設、保険者・医療連携で減塩・透析予防のアウトカムを出している先駆エリアから有効なツールを含め紹介する。

- 札幌会場：2017年5月27日(土) 13:00~16:50
TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前5F「はまなす」
- 名古屋会場：2017年6月24日(土) 13:00~16:50
TKPガーデンシティPREMIUM名駅桜通口 ホール3E
- 福岡会場：2017年7月23日(日) 13:00~16:50
九州ビル会議室9F大ホール
- 参加費：無料
- 定員：各150名※定員になり次第、締切。
- 主催：ヘルスケア・レストラン(株式会社日本医療企画)
- 協賛：大家食品株式会社

お問い合わせ

株式会社日本医療企画
TEL.03-3256-2885

